



あわ  
「淡」

島のごちそう 古民家カフェと宿

656-1605 兵庫県淡路市生田田尻597  
TEL. 090-3265-0856  
<https://kominka-awa.com/>  
営業日=金・土・日・祝日(平日は要予約)  
ランチ / 11:30~14:30 (要予約)  
カフェ / 14:30~17:00  
ディナー / 18:00~21:00 (要予約)  
冬季休業=2020/1/15~2/27

11月の「おひらき祭り」でせいかつサーカスのライブをビデオに撮り、終わったあと話していると、今は淡路島北部で古民家カフェをやっている新聞を置いてくれるというので、早速どんな店が見にいった。

今年の山水人では全体のトリをつとめていたせいかつサーカス。「おひらき祭り」では4人バンドでやっていたが、このカフェはボーカルのケンボウとキーボード担当のオネエの2人でやっている。(店主はオネエでケンボウは現場監督！)

3年前にお店をオープンしたが、せいかつサーカスの仲間たちでリノベした。もともと芝居の大道具とかナグリなどの仕事をするメンバーなので、センスよくきれいに仕上がっている。たとえば窓がステンドグラスのようになっていたり、ミラーボールがあったり、ドアなどところどころは手作りしていて古民家だがおしゃれな雰囲気をかもし出している。

行った日はランチをいただいたが、「島のごちそう」と称しているように地元の野菜や肉を使った和風のヘルシーなメニュー。食器はその家にあったものを主に使ってるそうだ。午後はカフェもやっている。

母屋を店にしている、自分たちは離れに住んでおり、別棟(元牛舎?)にはビザ釜が作られていたり、前庭は広く、3周年記念のイベントを開いた時は100人ほど集まったという。

裏手の傾斜地に畑があり、また入り口横には荒神さんが祀られたイワクラのようなこんもりし



た場所があって思わず引き寄せられた。そして駐車場スペースは15台分もあり、全体では家のまわり約1100坪を借りているという。(土地は農業者でないと買えないので)

今はカフェだけの営業だが、宿の規制がゆるくなったこともあり、2020年の春から宿としても営業する予定で準備中だそうだ。

なおこのところ毎年冬は長期間カンボジアに旅をしているおり、2020年も1月半ばから2月いっぱい休業する。

「淡」の場所は高速の北淡ICで降りてから山の方に向かって10分ほど行った生田という農村地帯にある。棚田やそば、ぼたるが有名な土地らしく、道は狭くくねくねしてるが、こんなところでのんびり暮らすのも悪くなさそうだという気になるようなところだ。神戸からほんの30、40分ほどのところにこんなどかな土地があるのは驚きだ。近くには五斗長垣内遺跡もある。

淡のサイトには道順なども詳しく案内しているので、興味を持った人はまずサイトをのぞいてみることをお勧めしたい。



←カウンターに立つケンボウとオネエ。QRコードは淡のサイトへ。

←「淡」の正面。右手の手作りのドアから入ると次々の趣向のちがう部屋があらわれる。